

問1 仙台駅を起点とした東北地方の移動について、鉄道の整備状況と所要時間の関係を示した記述として正しいものはどれですか。なお、仙台駅から盛岡駅へは約39分、秋田駅へは約139分、気仙沼駅へは約129分かかるものとします。（2026年 広島公立入試 類似）

1. 秋田新幹線が利用できる秋田駅への移動には、東北新幹線が利用できる盛岡駅へ向かうよりも長い時間を要する
2. 気仙沼駅へは新幹線が整備されているため、秋田駅へ向かうよりも短い時間で移動することが可能である
3. 盛岡駅、秋田駅、気仙沼駅のいずれの都市へも、新幹線の整備によって仙台駅から1時間以内で到達できる
4. 新幹線を利用しない気仙沼駅への移動時間は、高速化された在来線により、新幹線を利用する盛岡駅よりも短い

問2 東北地方の太平洋側に位置する岩手県では、夏に吹く冷たく湿った北東風（やませ）による被害を最小限に抑えるための工夫が行われています。岩手県の米の作付面積において、全体の7割を超える高い割合を占めている、冷害に強い性質を持つ品種として適切なものを選びなさい。（2026年 三重公立入試 類似）

1. ひとめぼれ
2. あきたこまち
3. コシヒカリ
4. つや姫

問3 日本の地域区分に関する問題です。日本地図において岩手県の位置が示されているとき、この県が含まれる地方区分の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 北海道公立入試 類似）

1. 東北地方
2. 関東地方
3. 中部地方
4. 近畿地方

問4 東北地方に位置するある県は、太平洋に面しているものの海岸線の長さは約167kmと比較的短く、一方で陸地では6つの県と境を接しているという特徴があります。この条件に該当する県として正しいものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 福島県
2. 宮城県
3. 秋田県
4. 岩手県

問5 青森県に位置する縄文時代の代表的な遺跡である三内丸山遺跡の周辺では、1988年から2022年にかけて大規模な土地利用の変化が見られました。1988年当時には遺跡のすぐ西側に広がっていた空地や平地において、その後の地域開発によって新たに整備された、地域の交通網を大きく変化させた要素として最も適切なものはどれですか。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 東北新幹線をはじめとする鉄道の建設
2. 製造業の拠点を集約した大規模な工業団地の造成
3. プロ野球やサッカーの試合を行うための県営運動公園の整備
4. 大型旅客機が発着するための国際空港の滑走路建設

問6 岩手県の太平洋沿岸に位置する三陸海岸周辺では、夏にオホーツク海高気圧から吹き込む「冷たく湿った北東風」の影響を受け、気温が上がりにくい年があります。この風の名称と、それによって引き起こされる現象の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2025年 山口公立入試 類似）

1. やませによる冷夏の発生
2. 季節風による豪雪の発生
3. フェーン現象による猛暑の発生
4. 貿易風による干ばつの発生

問7 東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東の風が吹き込み、気温が上がらないことがあります。この風の名称と、それが農業に与える影響の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2022年 愛媛公立入試 類似）

1. 「やませ」と呼ばれ、日照不足や低温によって稲が育たない冷害を引き起こす。
2. 「からっ風」と呼ばれ、乾燥した強風によって畑の作物を枯らす被害を引き起こす。
3. 「フェーン現象」と呼ばれ、急激な気温上昇によって果実の品質を低下させる。
4. 「季節風」と呼ばれ、大量の降雨をもたらすことで土砂災害を引き起こす。

問8 青森県の人口構成の変化について、1980年頃に見られた「底辺が広く若年層が多い状態」から、2020年頃の「少子高齢化が進行し、若年層が減少し高齢層が増加した状態」への人口ピラミッドの型の推移を表す組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. 富士山型からつぼ型へ
2. つぼ型から富士山型へ
3. つりがね型から星型へ
4. ひょうたん型からつりがね型へ

答え合わせ・解説

問1	答え 1 秋田新幹線が利用できる秋田駅への移動には、東北新幹線が利用できる盛岡駅へ向かうよりも長い時間を要する	東北地方では、東北新幹線の沿線都市である盛岡駅（約39分）へのアクセスが非常に良好です。一方で、秋田新幹線が通っている秋田駅であっても、盛岡駅以西は在来線の線路を利用する区間があることや走行距離の関係から、盛岡駅への移動より長い時間（約139分）を要します。また、新幹線の通っていない気仙沼駅（約129分）との比較においても、新幹線の有無や路線の性質が所要時間に決定的な差をもたらしていることが読み取れます。
問2	答え 1 ひとめぼれ	東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から吹く「やませ」の影響で気温が上がらず、農作物の生育が妨げられる「冷害」が発生しやすくなります。この対策として、岩手県などの地域では寒さに強い性質を持つ「ひとめぼれ」を重点的に栽培しており、地域の気候特性に合わせた品種選択（作付面積の調整）が行われています。一方、日本海側の秋田県では「あきたこまち」が多く栽培されています。
問3	答え 1 東北地方	岩手県は本州の北東部に位置し、青森県、秋田県、宮城県、山形県、福島県とともに構成される地方に含まれます。この地方は、中央を奥羽山脈が走り、太平洋側と日本海側で気候や産業に違いが見られるのが特徴です。
問4	答え 1 福島県	福島県は東北地方の最も南に位置しており、太平洋に面した海岸線を持っていますが、その長さは東北の他の沿岸県（岩手県や宮城県など）と比較すると短くなっています。その一方で、隣接する県は宮城県・山形県・新潟県・栃木県・群馬県・茨城県の6県に及び、東北・関東・中部の各地方を結ぶ結節点としての性格を持っています。
問5	答え 1 東北新幹線をはじめとする鉄道の建設	三内丸山遺跡の西側の土地は、1988年時点では目立った建造物のない空地や平地が目立っていましたが、その後の東北新幹線の新青森駅への延伸に伴い、大規模な鉄道建設が行われました。地形図の比較においても、以前は何も描かれていなかった場所に線路の記号が新たに加わっており、高速交通網の整備が地域の景観と利便性を大きく変えたことが読み取れます。なお、この周辺には運動公園も存在しますが、遺跡のすぐ西側の主要な変化としては新幹線の通る鉄道網の整備が地理的に重要な特徴となります。
問6	答え 1 やませによる冷夏の発生	三陸海岸をはじめとする東北地方の太平洋側では、夏に「やませ」と呼ばれる冷たく湿った北東の風が吹くことがあります。この風が吹くと、本来気温が上がるはずの夏季に気温が低く抑えられる「冷夏」となり、稲の生育が妨げられる「冷害」が発生する原因となります。
問7	答え 1 「やませ」と呼ばれ、日照不足や低温によって稲が育たない冷害を引き起こす。	オホーツク海高気圧が勢力を強めると、そこから冷たく湿った空気が「やませ」となって東北地方の太平洋側に流れ込みます。これにより、夏でも気温が上がらず日照時間も短くなるため、特に開花期や結実期の稲に深刻な冷害をもたらします。対照的に、からっ風は冬の関東地方などで見られる乾燥した風です。
問8	答え 1 富士山型からつぼ型へ	人口構成の変化は、多産多死に近い状態から少子高齢化へと進みます。1980年頃の若年層が多い状態は底辺が広い「富士山型」の特徴に通じ、近年の少子化により子供の数が減り、高齢者が増えた状態は「つぼ型」と呼ばれます。「つりがね型」はその中間の時期（2000年頃など）に見られる形状です。